

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-3-2		事業名	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業
担当	総務局東京事務所 小野 昌俊 Tel 03-3216-5090			
全 体 計 画				
事業内容	これまで東京事務所が取り組んできた情報関連産業の首都圏における販路拡大支援で培ったノウハウや人的ネットワークを活用し、より幅広い産業分野の販路拡大等、市内企業の首都圏進出をハード・ソフト両面から支援するため、以下の事業を行う。 ①首都圏販路拡大支援事業:IT、バイオ、デザイン、デジタルコンテンツやものづくりなどの産業分野において、高い技術や優れた商品を持つ市内企業に対してプレゼンテーションの場を提供するなど、ビジネスマッチングを図っていく。 ②ビジネスラウンジ運営事業:東京事務所のビジネススペースを市内企業の首都圏での営業拠点として開放するとともに、ラウンジコーディネーターが販路拡大のノウハウ等を提供する。 ③首都圏産業ネットワーク拡大事業:さまざまな産業分野に対応可能な首都圏企業等のネットワークを拡大するため、セミナーを開催するとともに、webによる情報発信などを行う。		<年度別の事業内容>	
			①首都圏販路拡大支援事業(19年度～22年度) 19、20年度…ものづくり(印刷業)、バイオ分野 21、22年度…環境関連産業 ②ビジネスラウンジ運営事業(19年度～22年度) ③首都圏産業ネットワーク拡大事業(20年度～22年度) ・ビジネス交流会 ・ビジネスwebサイトの構築、運用	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	①首都圏販路拡大支援事業 ものづくり(印刷業)及びバイオ分野において、高い技術や優れた製品を持つ市内企業にプレゼンテーションの場を提供し、首都圏企業と市内企業とのマッチングを図った。 ・コンサルティング事業:印刷業、バイオ関連企業各1回開催(参加企業数)市内企業:9社 ・プレゼンテーション大会:同上(参加企業数)市内企業:6社、首都圏企業:64社 ・ビジネス交流会(試行):札幌関係者限定2回、ノンジャンル1回開催(参加企業数)首都圏企業:84社 ②ビジネスラウンジ運営事業 東京事務所のビジネススペースを市内企業の首都圏での営業拠点として開放するとともに、コーディネーターが販路拡大のノウハウ等を提供した。 ・ラウンジ利用者数:535人		①首都圏販路拡大支援事業 ものづくり(印刷業)及びバイオ分野において、高い技術や優れた製品を持つ市内企業にプレゼンテーションの場を提供し、首都圏企業と市内企業とのマッチングを図った。 ・コンサルティング事業:印刷業、バイオ関連企業各1回開催(参加企業数)市内企業:10社 ・プレゼンテーション大会:同上(参加企業数)市内企業:7社、首都圏企業:77社 ②ビジネスラウンジ運営事業 東京事務所のビジネススペースを市内企業の首都圏での営業拠点として開放するとともに、コーディネーターが販路拡大のノウハウ等を提供した。 ・ラウンジ利用者数:632人 ③首都圏産業ネットワーク拡大事業 ・ビジネス交流会:札幌関係者限定1回、ノンジャンル2回開催(参加企業数)首都圏企業:113社 ・ビジネス支援サイト構築:『T BONE』3月30日オープン	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	①首都圏販路拡大支援事業 環境関連産業分野において、高い技術や優れた製品を持つ市内企業にプレゼンテーションの場を提供し、首都圏企業と市内企業とのマッチングを図る。 ・コンサルティング事業:環境関連産業で2回(ものづくり編、IT・バイオ・サービス業編)実施(参加企業数)市内企業:11社 ・プレゼンテーション大会:同上(参加企業数)市内企業:15社、首都圏企業:79社 ②ビジネスラウンジ運営事業 20年度と同じ ・ラウンジ利用者数:671人 ③首都圏産業ネットワーク拡大事業 ・ビジネス交流会:札幌関係者限定2回、ノンジャンル2回開催 ・ビジネス支援サイト『T BONE』の運用		①首都圏販路拡大支援事業 環境関連産業分野において、高い技術や優れた製品を持つ市内企業にプレゼンテーションの場を提供し、首都圏企業と市内企業とのマッチングを図る。 ・コンサルティング事業:環境関連産業で1回実施 ・プレゼンテーション大会:同上 ②ビジネスラウンジ運営事業 20年度と同じ ③首都圏産業ネットワーク拡大事業 ・ビジネス交流会:札幌関係者限定1回、ノンジャンル1回開催 ・ビジネス支援サイト『T BONE』の管理運用	
規模				
件数				
等				

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-3-2			事業名	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
販路拡大支援事業への首都圏参加企業数	94社	148社	190社	205社	200社	200社	
ビジネスラウンジ利用者数	323人	535人	632人	671人	500人	500人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力] もともと本事業は企業を対象としたものであるが、プレゼン大会、ビジネス交流会等は、その趣旨・内容が企業から企業へと伝わることによって参加者が増大するなどの事業効果が高まることが期待できる。 [情報協力]同上 [その他の協力]同上</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<p>●首都圏販路拡大支援事業では、環境関連産業の支援を行った結果、20件(19・20年度支援企業分を含む)の商談が成立した。</p> <p>●首都圏企業のネットワークは、昨年度実施した環境関連産業に、一昨年度までのIT、印刷及びバイオ関連産業なども含めると200社を超える規模に拡大しており、首都圏企業の本市産業に関する認知度、理解度が高まっている。</p> <p>●首都圏ビジネスウェブサイトの構築により、首都圏企業ネットワークの拡大、首都圏における札幌企業情報の発信機能を高めることができた。</p>			<p>●ビジネスマッチングにおける成約率の向上</p> <p>●ビジネスラウンジの活用強化</p> <p>●首都圏ビジネスウェブサイトによる発信力の強化</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>●産業振興ビジョンなどの基本方針に基づいて、産業振興部と緊密な連携を組み合わせながら、東京事務所での取り組みを展開する。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-3-2			事業名	首都圏ビジネスチャンス拡大支援事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	9,500	11,200	11,200	11,100	43,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	9,500	11,200	11,200	11,100	43,000					
予算	事業費	9,500	10,725	10,025	5,000	35,250				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
一般財源	9,500	10,725	10,025	5,000	35,250					
実績	事業費	9,028	10,136	9,243	-	28,407				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0		0				
	市の債	0	0	0		0				
	その他の	0	0	0		0				
一般財源	9,028	10,136	9,243		28,407					
事業費の進捗率		(H19実績事業費+H20実績事業費+H21実績事業費+H22予算事業費) / (計画事業費)					77.7%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										